届け 世界の果てまでも

令和４年１２月６日　おかげさまでＮｏ．５０　文責　校長　飯久保一男

保護者の皆さんから担任に，校長通信の感想が届くことがあります。先日は学校に来られたお母さんから「涙がでました」と感想をいただきました。１年生の校外学習に来たお母さん，ＰＴＡの街頭指導のお母さんからも校長通信の感想をいただきました。うれしい限りです。おかげさまで No.50 となりました。

やさしさについて　③

引き続き「やさしさ」について考えてみます。

その７【不特定の人のために】　…自分の経験から，ちょっと遠回りをする文にしてしまいました。

私が普段使っているデジカメ（デジタルカメラ）は，乾電池を入れて使います。電池切れになったら単三乾電池を入れ替えます。

…普通のデジカメは，専用（内蔵）のバッテリーを充電して使うタイプが多いと思いますが，乾電池を使うタイプは，出先で電池切れになったときに，コンビニなどで乾電池を買って，入れ替えができる利点があります。充電するタイプは，使う前に計画的に充電をすることが必要です。出先でバッテリー切れになったらお手上げです。

毎日，子どもたちの様子を本校ホームページの【学校のひろば】で紹介しようと，カメラを片手に校長室を出ていきます。子どもたちががんばって授業をしている姿，楽しい活動をしている姿を見ると「いざ，撮影」となりますが，むむっ「▯ 電池切れ」ということがあります。急いで職員室に戻り，事務用品のストックが置いてある棚から乾電池をもらって交換し，また急いで戻ります。

…電池がなくなりそうなときは，ポケットに交換用の乾電池を入れて向かうようにはしていますが。

しかし，職員室に戻っても，所定の場所にあるはずの乾電池が「品切れ」で，乾電池のストックがないときがあります。最後の乾電池をもっていった教職員が，事務職員に乾電池のストックがなくなったことを伝えなかったことが原因です。これはその教職員が意地悪をしているわけではなく，「気が回らなかった」のです。もしかしたら急いでいたのかもしれませんし，事務職員が席を外していたり，電話中で話しかけられなかったりして，あとで伝えようと思っていて忘れたのかもしれません。

さて，「気が回る」「気が回らない」の違いは何でしょう。その一つは，経験しているか経験していないかの違いだと思います。私はこんな経験を何度かしていますので，乾電池をはじめ，赤ペンなどの事務用品や様々な用紙のストックが少なくなっているときは，事務職員になくなりそうだから補充してほしいという旨を伝えます。自分を最後にものがなくなったときに，一声かけるだけのことです。私のこの行動を自分で「やさしさ」だというには，抵抗がありますが，次の人への思いやりと考えると「やさしさ」の一つだと思います。

本校のトイレはサンダルに履き替えて使用します。以前に書きましたが，用を済ませたあと，そのサンダルをそろえるのは次の人への思いやりです。また，自分が用を済ませたときに，トイレットペーパーをちょうど使い切ったらどうするでしょう。次の人への思いやりがあれば，新しいものに付け替えておくことがやさしさになります。家庭のトイレであれば，家族のために付け替えるのは当然としても，学校をはじめ，公共のトイレでもそれができる人はやさしい人です。

これらのことは，やさしくしようという相手が特定されていないやさしさです。しかも，普段はそこに備わっていているものですから，補充したり取り替えたりしたことに気付かれにくいやさしさといえます。

こんな言葉を見つけました。

> 何よりも明らかなのは
> 自分のことを大切にすれば，
> ほかの人にだって「敬意」と「やさしさ」
> そして「寛大さ」をもって接することができるようになるということだ。
>
> ナサニエル・ブランデン（アメリカの心理学者）

「やさしさ」について，３回にわたって長々と書かせてもらってきましたが，
その最後に行きついた言葉は，

「自分のことを大切にすれば，他の人を大切にできる」

という言葉です。これは，まさしく，小笠原小学校の学校教育目標

「自分を大切にし，他者を大切にする」子どもの育成

とぴったり重なります。つまり本校は，一言でいえば

「やさしい子どもを育てている」

といえるのです。

◆◆◆◆◆◆◆　インターネットで「やさしさ」を見つけました　◆◆◆◆◆◆◆

通勤の途中で，建築現場の横を通った。
作業中のおじさんたちが作業を中断してくれて「お嬢さん通りまーす」って言ってくれた。
犬の散歩をしてるおばあちゃんには「ワンちゃんとママさんが通りまーす」と言っていた。
小学生には「いってらっしゃーい」と手を振っていた。

スーパーマーケットのレジがめちゃくちゃ混んでいた。
「レジの応援お願いします」との業務用のアナウンスが流れた。
それを聞いた女の子が「がんばってぇ」とレジの店員の応援をした。
レジにいた店員は「ありがとね，おばちゃんがんばるよ」と答えていた。

娘の今日の宿題が，算数ドリルでも漢字練習でもなく
“１分間抱っこ”だった。
「先生はね，小学生のころにお母さんが死んじゃったんだって。
　抱っこしてもらいたくても叶わなかったから
　キミたちはいっぱい抱っこしてもらいなさいって言ってた。」
鼻水まみれで娘を抱っこした。